

2021年度 有峰蛾類分布調査-13

報告：有峰森林文化村 霜鳥 智也

編集：有峰森林文化村 田島 敏美

実施日時：8月23日（月）19:30～8月24日（火）5:30

天候：曇り→曇り 気温：21.0℃～17.0℃

月齢：大潮（14.5）～大潮（15.5）

実施方法：灯火採集法（ライトトラップ）

有峰は、ブナやミズナラが分布している標高1000～1300mの高原盆地です。

有峰で記録された蛾類の種類は24科931種で、確認された最大の科はヤガ科の340種です¹⁾。

8月16日～8月17日に引続き8月23日～8月24日に第13回目の蛾類分布調査を実施しました。天候は曇りで推移しました。蛾類や他の昆虫類の同定は、日本産蛾類標準図鑑他を参考に実施しました^{2～5)}。下表に昆虫類の飛来リストを示しました。8月23日は大潮で、21時過ぎには満月が出始めました。

蛾類として、ドクガ科は、ノンネマイマイが、ヤママユガ科は、ヤママユの♂のみ、5頭が深夜に飛来しました。シャクガ科は、チャマダラエダシャクとヒョウモンエダシャクが飛来しました。ヤガ科は、オオアオバヤガの他、ゴマシオキシタバとヨシノキシタバなどが飛来しました。カレハガ科は、ツガカレハが深夜に飛来しました。スズメガ科、ヒトリガ科、コブガ科の飛来はありませんでした。満月のため、灯火の輝度が月光に負けてしまう関係か、飛来する昆虫類は、16日と比較し、種類数、各個体の飛来数とも明らかに減少しました⁶⁾。

その他 甲虫の仲間では、シギゾウムシ類(コナラシギゾウムシ?)が飛来しました。甲虫以外には、羽アリ(トビイロケアリ♂♀)が点灯直後の20時頃大量に飛来した他、カワゲラ目のムラサキトビゲラが点灯直後の19:30に飛来しました。今後も蛾類以外の昆虫類の分布調査を継続していきます。

【引用文献】

- 1) 富山県昆虫同好会編：有峰の昆虫相/有峰の自然別冊（昭和56年7月）
- 2) 岩田 泰則著：日本蛾類標準図鑑ⅠⅡ/学研
- 3) 岩田 泰則他著：日本のヤママユガ/（有）むし社
- 4) 井上 寛他：原色昆虫大図鑑第1巻（蝶・蛾類編）/北隆館
- 5) 福田 晴夫他：昆虫の図鑑 採集と標本の作り方/南方新社
- 6) 池田清彦他：ぼくらの昆虫採集/株式会社デコ

ライトトラップ飛来昆虫リスト（8月23日～24日）				
科名	種名	雌雄	飛来時間帯	飛来の有無(○×)
ヤママユガ	ヤママユ	♂5	0:30～2:30	○
シャクガ	チャマダラエダシャク	♂1	21:30	○
	ヒョウモンエダシャク	♀2	21:30～22:30	○
ヤガ	カラスヨトウ	♂2♀1	21:00～23:30	○
	ヨシノキシタバ	♂1	21:30	○
	ゴマシオキシタバ	♂2	21:00～23:00	○
	オオアオバヤガ	♂1♀1	21:30～22:30	○
カレハ	ツガカレハ	♂1♀1	1:30	○
ドクガ	ノンネマイマイ	♂1♀1	20:30～22:30	○
ゾウムシ	シギゾウムシ類(未同定)	♀1	22:30	○
トビケラ目	ムラサキトビケラ	♂1	20:00	○

ライトトラップの様子（8月24日午前5時）



ツガカレハ♂

ヤママユ♂



シギゾウムシ類♂



ヤママユ♂



シギゾウムシ類♂



ヤママユ♂



羽アリ（トビイロケアリ♀女王）

